

かなえ

第 20 号(平成25年7月1日)

医療法人社団鼎会 八柱三和クリニック

千葉県松戸市日暮1-16-2 日暮ビル2階 047-312-8830

<http://www.yabashirasawa-clinic.com>



6月の坂川

よく晴れた日曜日、下矢切の土手方面から坂川ぞいに散策。江戸川土手から葱畑をすぎ、坂川沿いに新葛飾橋方面に行く。丘遠橋をすぎた辺りに大きな水門がある。この水門から市内を流れる坂川の水が、もう片側からは江戸川の水が合流する。付近には小公園があり、親子ずれが遊んでいた。ここには水面ぎりぎりの橋が架かっているが水流はかなり強い。小さい子には注意が必要だ。辺りは畑や水路がすっかり整備されている。だれも来ない穴場である。小さな水門が気に入り、すぐスケッチをする。そこには田植えが終わった水田が広がっていた。

絵と文 :松戸市在住 水彩画家 菅谷功氏

高林ツアー 鼎会顧問 高林克日己

膠原病リウマチ患者さんのツアーを今年も計画しています。だんだん充実して贅沢になってきたようにも思いますが、生涯に何度しかないツアーだと思うと、やはり良いものを準備しなければならないと考えています。そして結局は自分が良く知っている街を連れて歩くのが一番間違いないようです。昨年はドイツ、オーストリアを回る音楽コースでした。一昨年のクロアチアや、その前の年のスイスのような、見てみんなが声をあげるような場所がないことが私としてはどんなものかと懸念していたのですが、蓋を開けてみたらこれが十分素晴らしいツアーでした。はじめにウイーンにつくのですがあえてベルリンから始めて、ライプツヒ、ドレスデン、ウイーンと回るコースにしたのは、街の魅力度を配慮してのことです。ベルリンはちょうど3か月前に訪れたのでこの時気に入ったホテルにしました。ベルリンフィルを聴きに歩いて行ける距離です。音楽ファンなら憧れのホールで、とくに二人の音楽家が参加していたので、その音響のよさをお教えいただきました。ライプツヒでは大学病院を見学しましたが、彼の地の病院の大きさには相変わらず驚かされます。プラハはカレル城からカレル橋を通り旧市街まで歩きました。通常の人でもちょっとした距離ですが、初めにドクターストップをかけた方以外は完走しました。しかしその夜、足が痛い、浮腫んでいる、背中が痛い具合の悪い人続出で大変でした。やはり無理は禁物です。翌日からはウイーンに出て、シェーンブルンを回り、ベルベデーレに行きましたが、ここでクリムト生誕150周年をやっていて、クリムトファンならずとも垂涎の出そうな絵画がたくさん並んでいました。本当に贅沢な光景でした。そして夜はウイーン国立歌劇場、さすがNo1のオペラ座だけあって、決して全員がクラシックファンではないにもかかわらず難しいベルディのオペラをみんな眠らないでみているのには驚いたものです。驚いたといえは80歳になろうとするMさんのナイスバディとその身体能力。心臓が悪いとはとても思えない見事な水泳を見せていただきました。とにかく病気はあってもそれはそれでこれだけ活動される、そうした元気さが重要なのだと改めて思い知らされました。食事は美味しくないと思われているドイツ料理といながら、私がどこもかつて知っているところなのでまずまず完璧で皆さんに喜んでいただけたと思います。私もこんな食事と芸術満載のツアーは全て

のツアーでも
そんなところ
にはないと自
負しています。
写真はオペラ
座とドブロニク
です。
いつもみんな
元気で楽しそ
うな写真ばかり
で誰が患者さん
なのと何度言
われたことでし
ょう。
患者の顔は一
面であり、それ
が全面ではな
いし、またそう
した顔がなく
なるのが理想

です。旅行はどこでも楽しいのだから、もっと近場の安いところという話もあります。しかし今週中国に行ってきましたが、今回私の行ったところにはとてもみなさんをお連れする気にはなりません。やはり誰しもが見て感動するような、そうしたツアーを組みたいものです。

そして今年のツアー、9月22日から10日間回ります。朝日新聞に大きく載ってしまったので参加申し込みも順調で、またそれに合わせて最近とは違うポピュラーなコースにしました。すなわちイギリス、フランス、ドイツの3か国を回るツアーです。ただしロンドン、パリはごく普通ですが、料理はもちろんまともなところを準備します。そしてミュンヘンはまさにオクトーバフェスト(ビール祭り)、この世界の体験はとも楽しくてお酒を飲めなくても意味があると個人的に思っています。もちろんバイエルン国立歌劇場のドンジョバンニも用意しています。また泊まるのはアルプスの麓のガルミッシュ・パルテンキルヘンで、綺麗な山の中での休養を考えています。すぐにいっぱいになりそうですから、ご希望の方はお早めに。車いすでもお手伝いできます。

オペラ座



ドブロニク



人類みな兄弟

もの忘れについて

院長 齊藤丈夫

もの忘れが気になっている人は少なくないと思います。かくいう私も急にもの忘れが目立ってきた時期があって、もしかしたら認知症の始まり？と真剣に心配したことがありました。いつの間にか年齢相応の衰えのコースに乗ったような感じになり、今ではこんなものかなと思っています。

やはり困るのは患者さんの名前が出てこないことです。風貌から病状までかなり正確に想起できる患者さんでも、名前が出てきません。薬の名前もちょっと怪しいです。昨今はジェネリック医薬品が多くなったのでさらに大変になりました。薬の効能や副作用を忘れることはありませんが、名前が出てなくて困ることがあります。

記憶力が衰えてから変わったことと言えば、単純な作業が苦にならなくなったことでしょうか。小学校の頃、同じパターンの繰り返しの計算ドリルや漢字の書き取り、みなさんも退屈な作業で苦痛だったと思います。今では悲しいことに、単純な作業でも無駄ではないという心境になって来ました。何度も繰り返し頭に叩き込んでおかないと、将来はこんなありふれた薬の名前も思い出せなくなってしまうかもしれせん。

それでは、どの程度のもの忘れは年齢相応で、どの程度の物忘れは心配すべきなのでしょう？ここまでは単に『物忘れ』と書いてきましたが、その内容をもう少し整理して考える必要があります。人間の記憶には3つの過程があります。記憶の獲得、記憶の保持、それから記憶の引き出しです。これらはそれぞれ脳の異なった機能が関係しています。

年齢と共に真っ先に衰えるのは記憶の引き出しです。顔が思い浮かんでいても名前が出てこない、でも記憶は保持されているので、何かの拍子にあっさり思い出したりします。一方、認知症では記憶の獲得が強く障害されるのが特徴です。新しいことが覚えられません。しっかり保持された記憶は失なわれないので、昔のことは良く覚えています。『もの忘れ』という言葉は、認知症の記憶障害を表現する言葉としては、本当のところは不適切なのです。忘れてしまうわけではありません。そもそも一度も記憶として獲得されていないのです。記憶が獲得されていないのか、あるいは引き出せないだけなのか、どうすれば区別できるのでしょうか。ヒントが有効かどうかの一つのポイントです。ここでちょっと例を挙げてみます。

娘さん「留守の間電話があったかしら」おばあちゃん「いいえ、なかったと思うけど」。(翌朝)娘さん「田舎のみち子おばさんから夜電話があったわよ。昼間も電話したって言ってたけど」おばあちゃん「あ、そうだったわ、浩くんが結婚すると言ってたわ」娘さん「なんだ、ちゃんと覚えているじゃない」。この場合はヒントで思い出すことができたので記憶の引き出しの問題のようです。これはどうでしょうか。おばあちゃん「田舎のみち子おばさん？電話なんかなかったわよ。何年も話してないわ。」娘さん「そうなの、ごめんなさいね。あのね、浩くん結婚するんですって」おばあちゃん「浩くん？ああ、お祭りで迷子になった、あの浩くんね。もう小学校に上がったのかしら？」娘さん「……」。まったく記憶が獲得されていないで、ヒントも何もありません。これはやや深刻です。強く保持されている昔の記憶の中で世界が止まってしまっているのも特徴的です。

記憶の獲得には側頭葉の内側部にある海馬と呼ばれる領域が関係しています。ある程度進行した認知症の患者さんでは画像診断で海馬領域の萎縮が認められることがあります。認知症とは違いますが、ヘルペス脳炎という病気で海馬の機能が失われてしまった患者さんを診察したことがあります。この患者さんは思考、言語、感情などの脳のほとんどの高次機能は正常ですが、新しい記憶の獲得は全く出来なくなっていました。病気になる前に獲得した記憶は無事なので、会話はスムーズで計算問題も解くことができます。ところが最近起こった出来事に関しては何も述べることはできません。この患者さんはこう言いました。「最近の出来事ですか…ちょっとわかりません。でも何か嬉しいことがあったという気持ちが残っています」。あとで奥様に聞いたところ息子さんが高校受験に合格したとのことでした。

記憶の獲得が障害されると、起こった出来事自体の記憶は脳に残っていませんが、その出来事から受けた漠然とした感情は残るもののようです。認知症の患者さんを叱ったり、失敗を指摘したりしない方が良くとされています。叱られた内容を学習することは無理なので、いくら教え込もうとしてもうまくいきません。一方、この人に叱られたという嫌な感情はしっかり残ってしまうのです。感情的なしこりは被害妄想などの認知症の周辺症状を悪化させると考えられています。認知症の患者さんを現実の世界に対応させるのではなく、認知症の患者さんの世界を理解して、それに合わせた対応をすることが大切だと言われています。理屈では分かっているがなかなか難しいことではありますが…

八柱三和クリニック診療医師担当表

		月	火	水	木	金	土
乳腺外科	午前	渡辺 修	渡辺 修	(手術)	渡辺 修	渡辺 修	渡辺 修
	午後	渡辺 修	渡辺 修		(手術)	渡辺 修	
外科	午前						
	午後				佐久間晶子		
整形外科	午前					浅野健一郎	早田浩一郎 (2, 4)
	午後	小酒井治 (2, 4)			小林洋平	浅野健一郎	
内科 1	午前	斉藤丈夫	斉藤丈夫	斉藤丈夫	斉藤丈夫	斉藤丈夫	斉藤丈夫
	午後	斉藤丈夫		斉藤丈夫	(在宅)	斉藤丈夫	
内科 2	午前	渡辺聡枝	渡辺聡枝	渡辺聡枝	渡辺聡枝	渡辺聡枝	杉崎良親
	午後		仲野総一郎	渡辺聡枝	渡辺聡枝	(高林克日己)	
内科 3	午前	鈴木明子	鈴木明子	鈴木隆弘	鈴木明子		高林克日己
	午後	鈴木明子	鈴木明子	藪下寛人	鈴木明子	鈴木明子	
内科 4	午前						渡辺聡枝 (1, 3, 5)
胃カメラ	午前	渡辺英二郎	横溝 肇		佐久間晶子	鈴木明子	
大腸カメラ	午後	渡辺英二郎	横溝 肇				

~~~~~  
 < 編集後記

< 三和病院建設プロジェクトは、大成建設さんをパートナーに設計施工が進んでいます。毎週1回、場合  
 < によっては2回・3回と打ち合わせを行い、よりよい病院になるよう力を合わせています。7月13日に行われ  
 < る健康サービスデーでは、斉藤院長の「生活習慣病」をテーマにした医療講演と、来年夏にオープンを  
 < 予定している三和病院の概要についてお話しします。皆さん、是非、聞きに来てください。

総務: 中野三代子

< **第 11 回健康サービスデー: 久しぶりで、とっておきの、『生活習慣病の話』**

< 講師は斉藤丈夫先生です。生活習慣病についての分かりやすいお話です。

< 平成 25 年 7 月 13 日 午後 3 時よりクリニックロビーにて行います。

~~~~~